

市政を問う

代表・一般質問(要旨)

代表質問



日本共産党
金丸 一孝

生活がきびしい中で、暮らし優先を貫く予算編成を

市民生活がきびしい中で暮らし優先を貫く予算であるべきです。二億円余の基金の一部を取り崩して、就学援助制度の認定基準低下や乳幼児医療費助成制度の三歳未満児まで所得制限撤廃や震災・減災対策を充実すべきです。市長、平成17年度予算の中では少なくとも二億四千万円の財源不足のために財政調整基金から取り崩しをしています。平成18年度のことを考えると、基金が二億千七百万円というのがかいかに少ないかということをご理解いただきたい。

保育園の待機児解消へ認可保育園の誘致を

子育て支援は、市政の重要な課題です。政府の増税路線は子育て世代の家計を直撃し、働きたくてという願いは切実です。保育園と学童保育の充実は大切です。待機児解消のために認可保育園の誘致を進め

るべきです。

市長 保育園については、民設の保育園も計画されていますので定員の弾力化を含め対応をまいります。今後は、次世代育成行動計画に基づき人口の推移を見ながら検討してまいります。

臭い、汚いトイレ解消など学校施設整備について

新年度予算で教育費は、体育館の耐震補強工事など前進面もありますが施設整備の予算は、小中学校で97年度の三割強です。臭いトイレの解消、十小以降の大規模改修計画、プールサイドの改修をどう進めるか答弁を求めます。

防災体制の課題について

災害対応能力の向上は、地域住民による「自助」「共助」と地方自治体による「公助」の3つのパートを総合的に高める必要があります。防災力の向上には、防災施策の評価など、防災監査の実施や八ザードマップの作成を求め、総務部長、関係機関と連携し、毎年防災訓練の中で事後評価を行い、訓練内容や防災施策の見直しを続けます。ハザードマップは、都中心で進めている都市型水害対策検討委員会の検討結果を見て作成できるか検討したい。

情報公開の改革について

政策・事業の必要性の説明やコストの公開は、決して十



公明党
西畑 春政

教育委員制度について

行政から一定の独立を維持しながら、市民による監視と

様々な職業の最先端で活躍している人が教育委員に任命され、教育施策を検討していただきます。再度教育委員制度の運用が十分かどうか点検する必要があります。見解を伺います。教育長 本市の教育委員は、各学校の授業参観や行事に参加するなど、積極的に教育施策へ提言できるように努力しています。変化の大きな時代に変化する波の息吹を受けながら発展するに適した教育委員制度にすべく努力します。



民主クラブ
中村 清治

運動公園下宿サッカー場整備計画について

近年、若者に人気があり、整備要望も多いフットサル場は、サッカー場に比べ面積も狭く、競技人数も少なく出来るスポーツで、周辺自治体でも整備されている。下宿サッカー場整備に併せてフットサル場の開設計画を伺う。

生涯学習部長 市では、下宿の清瀬水再生センターの西側の用地を昨年8月から借用しており、平成17年度にサッカー場を整備したい。フットサル場との併用活用ができるのかどうか検討してみたいと考えています。

避難場所である学校体育館耐震化と大規模改修

政府中央防災会議が首都直下地震(7.3)を基に算出した被害は12兆円、避難者は540万人避難所生活350、460万人にのぼる。中越・スマトラ沖地震の様な自然災害はいつ起こ

一般質問



民主クラブ
田中 長夫

教育問題 学力向上について

東京都では、学力調査をして結果を公表した。教員の指導力向上と家庭でのしつけを対策として考えていると発表され、私なりに理解できるが学力低下を向上させることに所見を。学校教育課 学校では各教科毎に学力向上プランを作成し、指導力の向上を図っています。平成17年度は、小中学校の教職員が各教科や道徳等の研修を行い、授業を中心とした研究を推進し授業力を向上させようと考えています。



民主クラブ
友野ひろ子

「京都議定書」に関して

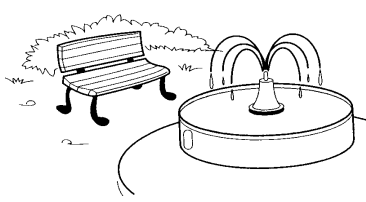
地球温暖化防止のための温室効果ガスの削減を義務づけた「京都議定書」が発効。庁舎内において省エネに取り組んでいる事例は何か。今後「屋上・壁面緑化」等も考えてはどうか。又、市報で「省エネ」を呼びかけてはどうか。総務部長 庁舎内の省エネ対策は、昼休みの消灯や冷暖房の温度設定調節などに努めています。壁面緑化の実施は難しいが、屋上緑化は庁舎改修工事の際に検討したい。また市報への掲載は、早い時期に行いたいと考えています。



民主クラブ
斉藤 正彦

「農の学校」開校について

健康づくりを図り、ボランティアで農業体験や農業を手伝いたい人も多くいると思います。体験型農園の普及や障害者農業就労援助事業を推進する「農の学校」等を開校し、農地の保全や大切な自然環境を守って行けないか。



柳瀬川改修工事と自然保護レンジャーについて

守る会、体育協会等の協力により、中里緑地保全地域の力タクリ祭り、金山公園の清掃から祭踊り等行われているが、今後の河川空地の整備と内容を伺う。また、自然保護レンジャーの活動内容を伺う。建設部長 柳瀬川整備懇談会においてせせらぎ公園からの通路等幾つかの課題が出されましたので、今後再度検討し決定したい。自然保護レンジャーは、河川や雑木林等自然保護区域の利用者に適切な助言や啓発を行うものです。

市民生活部長 農業ボランティアについて、平成14年に受入や体制側の意向ということで、農業者アンケート調査を実施しています。これら資料を参考に、あり方検討委員会で議論していただきましたが、今後の検討課題としたい。



民主クラブ
石井 秋政

子どもうつ病について

子どもにうつ病が広がっている。うつ病についてはあまり知られておらず、見逃されているケースも多いと言っています。特に思春期の頃は心の揺れも大きくなり、家庭や学校の関心が必要と言います。当市のうつ病について伺う。

建設部参事 今年度は東京都から委託金の増額が認められ、大分整備が進み、用地買収も後二年程度で終了するのではないか思っています。駐車場への活用ですが、貸出し条件等があると思しますので、東京都に確認したいと思えます。

市内の宅地開発は相続等個々に開発が進み、道路が引き止まりとが、迂回道路になつてしまつても多く見られます。隣接する地主さんとトラブルも生じます。広域的に区画整備を行っていると思うが、道路認定について伺う。

建設部参事 道路整備については、区画制の関係でどうしても行き止まり道路ができてしまつてもありますが、基本的には行き止まり道路をつくらないよう、道路が将来開発区域外に接続するような道路線形を指導しています。

宅地開発に伴う道路認定について

この道路は、十六年度に約十億円の予算が計上され、整備率は約88%となつた。連結予定の東3・4号線より数年早く完成されると思われる。仮舗装部分を商店街の駐車場として活用できるように要望することを求める。

建設部参事 今年度は東京都から委託金の増額が認められ、大分整備が進み、用地買収も後二年程度で終了するのではないか思っています。駐車場への活用ですが、貸出し条件等があると思しますので、東京都に確認したいと思えます。

学校の防犯対策について

大阪の小学校の事件では、インターホン越しでの会話で一旦犯人は引き返している。児童の登下校時以外は門を閉ざし、インターホンを活用することで、防犯の効果があることが判明した。その設置状況とその活用について伺う。

学校教育部長 画像付インターホンには設置されておらず、ご提案の趣旨は理解できますので、今後の学校管理のあり方と合わせ、学校防犯対策の検討課題とさせていただきます。

都市計画道路東3・4・13号線の活用について

この道路は、十六年度に約十億円の予算が計上され、整備率は約88%となつた。連結予定の東3・4号線より数年早く完成されると思われる。仮舗装部分を商店街の駐車場として活用できるように要望することを求める。

建設部参事 今年度は東京都から委託金の増額が認められ、大分整備が進み、用地買収も後二年程度で終了するのではないか思っています。駐車場への活用ですが、貸出し条件等があると思しますので、東京都に確認したいと思えます。



民主クラブ
森田 正英

子育て支援策の今後の方向性について

子育て支援策の更なる充実を考えると、助成制度の拡充保育サービスの充実、就学前教育を含めた学校後の居場所づくり等々、様々な分野での施策が考えられるが、将来的展望について伺う。

市長 今年度は、民設保育園や児童センター、子ども家庭支援センターの開設など子育て支援の充実を図ります。また、ファミリーサポート制度や病後児保育など子育て環境の整備に努力して参ります。



民主クラブ
粕谷いさむ

総合的学習のあり方について

子ども達の学力低下の結果として、総合的学習の重要性が直しがされる中、特に総合的学習の時間確保が不可欠であるという考えのもと議論が

高まっている。当市での評価は、総合的学習と各教科の学習をどのように関連させていくのか、今以上に指導していく必要があると考えています。中央教育審議会が学習指導要領全体の見直しがあり、答申が出される見込みなのでその動向を見守りたい。

東3・4・7号線と志木街道の安全確保と渋滞対策

平成二十年には上清戸、小金井街道が開通、二二年には全線開通の予定であるが、下清戸二丁目長命寺前丁字路は形状的に、交通量の増加に伴う事故が危惧されている。又、今でも渋滞の激しい新座市方面への今後の対策を伺う。

建設部参事 全線開通になる場合、東村山警察署と東京と再度協議をするというところ。今後の対策としては、スムーズに通行できる交通管制システム化が考えられます。東村山警察署とよく協議してみたいと考えています。

適正な生活保護の実施について

生活保護についての不満をよく耳にするが、行政に対する不公平感を与えることは市政運営の上からも好ましくない。本当に必要な人にきちんとした保護ができるよう、受給者のチェックを厳しくする必要があると思う。

健康福祉部長 本市では、様々な相談に対応すべく、面接相談員や就労支援員の配置を行い、効果を上げています。今後モ福祉事務所運営指針等を基に、ケースに応じた効果的な指導助言に努め、制度の適正実施に努めていきたい。

国民健康保険税の収納率を上げる対策について

国民健康保険税の未納額が年々大きくなっています。不公平のないよう、悪質な滞納者からの徴収に力を入れてほしいと思います。収納率強化によつては東京都からの調整交付金の交付もあるようです。市の対策を伺います。

市民生活部長 公平な負担と医療の給付が原則と考え、未納者は短期被保険者証の発行等厳格な対応を実施しています。今年度は社会保険庁と情報交換を行う一方、ポスター、年金推進員など徴収対策に取り組んでいます。



民主クラブ
渋谷のぶゆき



日本共産党
原田ひろみ

若年者の実態を把握して幅広い就労支援を

厳しい若年者の就労状況がフリーターやニートの増加が指摘されています。若者の実態を把握して就職活動そのものを支援する施策も必要です。就労相談窓口の設置と就職面接会などでのアンケート実施など、就労支援策を求めます。

市民生活部長 窓口設置については、引き続き要請していますが、引き続き要請しています。八〇〇ワークは、再就職支援セミナーの清瀬での実施や三二面接会も、求人あり次第予定しており、二つした機会を通じ意向調査も実施したい。

福祉タクシー制度の立替払いについて改善を

社会参加の支援として大切な福祉タクシーですが、利用者による立替払いを求める方法は改善すべきです。他自治体ではタクシー券が主流であり、

独自に作成するなど運営上の問題の解決を図っています。改善への検討を求めます。健康福祉部長 現金などの給付制度は手当や医療費、またガンリン補助などを含め、立替払い、後払いの仕組みになっていますので、変更させていただきますが、この方法で制度の定着化を図りたいと考えています。



地域通貨導入に向けての検討状況

地域通貨については、市民





日本共産党 小野 幸子

ごみ減量の一層の推進を

ごみ減量は一定の効果を上げていますが伸び悩んでいます。ところが新年度は減量化のための予算が削減されて...

紙類は50%を占め、紙の分別が減量を左右すると認識しています。紙類の出し方は、市報等でPRをしていますが、なお一層の徹底を図るため、分別箱の設置、説明会等を行い、分別と減量を推進したい。

男女平等参画のための条例制定について

男女平等参画社会に向けて条例制定に欠かせないのは、男女平等、女性差別の撤廃、女性の人権尊重、苦情処理の問題です。条例制定には、多くの女性や住民の声が反映されるよう、委員の公募と、十分な検討の時間を求めたい。

企画部長 委員構成については、知識経験者や公募委員、関係機関と関係者などが考えられますが、具体的には新年度に入り内部的に十分調整を図り、平成18年度中の制定を目標に策定作業を進めていくことになると思っています。

清瀬橋付近の旧河川の空地利用について

柳瀬川の清瀬橋架け替えに伴う清瀬橋下の旧河川部分の空地利用については、市民が利用しやすい公園づくりやせせらぎ公園へのアクセスが小金井街道を横断しない通れる通路や車椅子で利用できる傾斜の少ない歩道を求める建設部長 河川という自然環境を生かした公園づくりとせせらぎの延長ということで計画を進めています。アクセスは、新しい橋の下を通る方法が現在示され、通路は車椅子が利用できるような勾配で築造することになっています。



日本共産党 佐々木あつ子

訪問介護の制限をやめさせ安心してできる介護保険を

介護保険の見直し案が、国会に提出されたが、国の支出を抑えることに重点がおかれサービスの低下や負担増がもたらされる。軽度要介護者は訪問介護サービスなどから除外され、市の負担分も増えるが市の見解を問う。

市長 今回の制度改革は制度の持続可能性の確保と予防重視システムへの転換であるとして理解しております。将来の介護給付費の増や介護保険料の引き上げを抑えるために必要な改革だと認識しております。

少人数学級の実施を都に求め、当年度下半学年対策を

子どもたちに行き届いた教育が求められている。少人数学級は、四十六道府県に広がり、都も一日も早く実現すべきだ。都に強く要請するとともに、新年度は、小学校の新生徒で三十五人以上の学級が八学級ある。対策を伺う。

がん検診の自己負担をやめ、がん検診の自己負担をやめ

市は、新年度予算で各種のがん検診に自己負担を導入したが、受診率の向上に逆行するものである。自治体が行う検診は、かかりやすさが求められるが、市は受診率を高めるためにどう努力するのか。見解を問う。

健康福祉部参事 がん検診の受診率をさらに高めようという目的の財源的な枠の拡大ということもあつて、今回、一部費用負担をお願いしています。今後受診率の向上を図るとともに、市民への啓発に努めていきたいと考えています。

憲法9条を守り、平和祈念事業の充実を求める

戦後60年の節目を迎え、核兵器廃絶と平和憲法を守る運動はますます大切だ。市の平和祈念事業も予算を減らさず、また、市民が企画から参加して戦争体験を聞きとるなど幅広い行事にしていくべきです。

市長 全国市長会で核兵器の廃絶を求める決議を行っており、本市の平和祈念事業は平和祈念展、広島市の平和記念式典への小中学生の派遣、平和関連図書の見学等を行っており、今後も継続して実施していきます。

ダイオキシン問題は、いっそう重視すべき課題

下宿二丁目の稲荷児童遊園の土壌は二回とも130ピコグラム、84ピコグラムのダイオキシン数値を示した。簡易焼却炉や野焼きによる焼却禁止の徹底やダイオキシン類等環境保全審査の開催回数の増加などを求める。

市民生活部参事 土壌ダイオキシンの検査、焼却者への指導等を行っています。ダイオキシン対策等市民協議会より41件の焼却実態報告を受けております。これらについて再度強い指導を徹底していきま

旭が丘の第九小学校跡地利用について問う

第九小学校跡地の利用は5年程度の予定で暫定利用されているが、校舎の劣化も進んでおり、周辺の民を含まれた市民参加の検討委員会を設置して児童館や高齢者施設など長期的な利用計画を作成していくことを求める。

市長 第九小学校跡地は検討委員会の活用案に沿って利用しております。この活用方法は短期的(5年間)の利用方法であり、今後の利用方法についてもう一度再検討する必要があると考えています。



日本共産党 畠山 真

安心してできる小児救急 医療体制の確立を

子どもたちの命と健康を守るために清瀬小児病院の存続と併せ、初期救急体制を整備することが求められています。医師会と協力して小児を診察できる医師を増やし、市内に固定型の初期救急施設をつくることを必要とする。

市長 清瀬小児病院の問題でありますが、今年東村山にあるが摩多摩老人医療センターが摩多摩北部医療センターになり小児科を併設することになりましたが、受け皿のあり方について今後都と協議を続けたい。

木造住宅の耐震診断・耐震改修への助成を

東海地震の被害が予測されている静岡県では、県と市町村が木造住宅の耐震診断・改修に助成を行っています。首都直下地震で甚大な被害が予測される東京都には制度がありません。都に助成制度の創設を求めるべきです。

市長 多摩26市の中で、木造住宅の耐震診断、耐震補強の助成制度をとられているところについて、実情をよく調査して、清瀬市としてどうすべきか検討いたします。

商業振興のための 宅配サービスの実施を

妊娠中の方や小さなお子さんを連れた方、高齢者の方などが、大変苦労しながら商店街で買い物している姿をよく見ます。消費者サービスの向上と、商店の売り上げ増加が見込める商品宅配サービスの実施を求めます。

学級の適正児童数と今後の取り組みについて

学級定員は四〇人が標準であるが、都道府県の判断で決定できるようになった。また、少人数指導なども取り入れられ、教員の加配が行われている。市教育委員会としてあるべき姿を明らかにするため、教育長 清瀬市の教育の進むべき姿を明らかにするため、有識者や学校関係者、保護者や公募市民などの協力を得て、平成17年度に検討委員会を立ち上げ、教育総合計画を策定したいと考えています。

公明党 金子 征夫

旧九小施設の活用について

旧九小校舎は市民が活用する実態になっていない。一階部分は作業を中心に利用頻度の高い部門と玄関や共用スペースの確保、二階は集会や展示、三階は搬出入を考慮した上で倉庫等に利用計画を再検討すべきと思うが見解を伺う。学校教育部長 現在、旧九小校舎を、利用施設の配置に

関係することについて、とくに改善の要望は寄せられておりませんが、利用の実態を調査して施設を利用しやすいように検討したいと思えます。

柳瀬川通りのバス路線の延伸について

「コミュニティバス路線案の一つであったが見送られたが下宿三丁目にいたる沿線は三三開発が進み大きく変化している。バス需要が高まる中、台田団地や柳瀬川通りの増発延長を市の責任として西武バスに強く要請して欲しい。総務部長 柳瀬川通りのバス路線延伸については西武バスに検討していただいている経過があります。この地区については既存路線の延長という方向で引き続き要望していきたいと考えています。

公明党 久世 清美

景観条例策定について

住みよい街づくり条例ができ、よりよい街づくりに向け様々な提案がなされていくと思う。市として街づくりにもう一步深く権限をもたせるものとしてぜひとも、清瀬市景観条例の策定が必要と思う。建設部参事 清瀬市では自然景観を残していくことの重要性を理解しています。条例の策定に当たり権利者の方も含めて、市民の参加を得て検討する必要があると思

います。





公明党 長谷川正美

学校などの屋上緑化及び温暖化対策について

温暖化防止の学習を兼ねて具体的な実践としては、学校が、学校とはどのような話を進めてきたのか伺います。

温暖化防止対策として、教室の果暖化防止対策として、アサガオやヘチマなどのつる性の植物を活用した壁面緑化について小学校でモデル校を指定して取り組んでみたいと思っています。

アマチュア無線局と協働して通信計画を持つべき

ハム(アマチュア無線局)の方々と協力して、一般の通信手段が無くなった場合の市内の方々と連携し、多重に通信計画を持つべきであります。

また、通信訓練も行うべきだと思います。答弁を求めます。総務部長 アマチュア無線は災害時において有線通信系が不通になった場合大線通信系が情報通信手段です。都と日本アマチュア無線連盟は通信の確保で協力関係があります。

市内で協力していただける団体があるか調査します。教科書と教科の考え方について

社会科で言えば江戸時代の人口が小学校では三〇〇〇万人と、つながらなく表記されたおりですが、選定された教科書であつても、資料評価の違い等を加味した教育をどのように行っていくのか。

人、中学校では三〇〇万人と、つながらなく表記されたおりですが、選定された教科書であつても、資料評価の違い等を加味した教育をどのように行っていくのか。



公明党 浅野和雄

構造改革特区制度の活用について

国の特区制度創設以来、全国各地で経済効果や活性化を目指し、様々な特区が実現している。医療福祉関連施設や大学などを多数集積している当市の特産を顕在化したコニハールデザインのみならず、特区で地域の活性化を。市長 清瀬市南側地域ですが医療施設、福祉施設が集積してきています。構造改革特区として、指定を受けても財政上のメリットがありません。

乳幼児健診と早期療育について

発達障害の早期発見早期支援は大変重要な。乳幼児健診の良し悪しが幼児の一生に大きな影響を与える。これまでの市の対応は、竹丘学園の紹介が不十分で、障害児を抱えた父母に失望を与えてきた。

改善を求め、所見を伺う。健康福祉部長 子供の発達を確認して乳幼児健診を実施しています。異常がわかった場合、専門機関での受診を指導し、また、竹丘学園の活用を図っています。今後、障害の早期発見、早期治療の充実に努めていきます。

防災拠点のトイレ機能の確保について

避難所のトイレ機能の確保は避難所生活を過ごす上で大変重要であるが、対策が十分とはいえない。30か所の避難所のトイレの整備拡充と利便性や衛生面からマンホール活用の考え、積極的な導入を求め所見を。総務部長 災害時の仮設トイレは、現在76基保有し、1基で60人が4日間使用できます。災害時には、それぞれの避難場所にこれを設置します。マンホールの活用は道路上のものは難しいので新たに公園等を整備する場合に検討します。



清瀬21の会 市川としお

民生費45%という予算の構造は

当市の17年度予算の構造的構造は、歳出の中で民生費45%ということ、歳入での地方交付税依存度が高いというところにあります。バランスのとれた政策展開、安定的歳入構造という観点からの所見を伺う。

市長 国庫補助金が減り、所得税等の税源が移譲されてくることは、歳入上は政策選択

の幅が増えますが歳出の財政構造は大変厳しい対応を迫られることになり。その改善を進めなければなりません。高齢者総合政策の策定を

高齢者総合政策の策定を

あと2年後に始まる団塊の世代の定年は、わが国社会の大変動です。元気で前向きな高齢者の集団がこの街に帰ってくることは、そのための社会基盤整備の構築という課題と同時に協働の街づくりではチャンスです。所見を伺う。市長 団塊の世代の課題は、市行政のあらゆる分野で取り組んでいく必要があります。協働の街づくりの参加の輪を広げていただきたいため、その素地をつくっていきます。

みどりの基本計画の見直し

平成10年に策定された市みどりの基本計画は、今年が中間年次です。最近の宅地開発等で多くのみどりが失われているのは危惧するところ。目標年度の一人当たり20・52㎡を含めた計画達成について伺う。建設部長 中里産線緑地、中里一丁目緑地、下清戸道東緑地、神山緑地がすでに都市計画決定や公有地化され、更に仮称清瀬大和田公園整備等の計画もある。今後、施策を着実に進め、目標量に近づきたいと思っています。



清瀬市民会議 長野美保子

PCB含有安定器の再調査と安全性の確保

昨年十二月議会で約束した再調査の結果、学校や保育園などの公立施設で新たに見つかったPCB含有安定器の総数と、不明分の個数、そして二〇〇五年度中に全撤去と交換をし、法に基づいた安全管理をするように求めます。助役 調査の結果、保育園で87灯、学校関係514灯(不明分21灯)です。安定器の交換は平成16年度で学校体育館を中心に99灯を実施しました。平成17年度で残りを実施し、保管管理等の徹底をはかりたい。

子宮がん検診を毎年受診できるように

今年度の子宮がん検診が従来のように毎年受診から隔年に申し込む制度に変更がありました。がんは早期発見早期治療が求められています。二年に一度しか検診を受けられないのは納得出来ません。毎年検診にすべきです。健康福祉部長 子宮がんの罹患状況、死亡状況について国の専門機関で検診が加えられた結果、2から3年に1回の検診でも死亡率は変わらなるとの報告により2年に1回の検診にしました。ご理解をいただきたいと思っています。

清瀬市児童センターの交通アクセスについて

児童センターが完成し、七月オープンになりますが、市内全域から子ども達が集うような交通アクセスを確保する必要があります。市が保有するバスなどを活用して運行を考えるよう求めます。健康福祉部長 駐車スペースとして清瀬市児童センターは、車用が36台、オートバイ用が10台、自転車用が50台あります。また、バス路線もありません。大型のイベントの時なども検討いたします。



民主党 斎藤実

介護保険の見直しについて

今年度は介護保険の大きな見直しが行われ、従来の要支援と要介護一を細分化し筋力トレーニングなどを取り入れるようだが、清瀬市独自の施策や健康センターの活用など今後の考え方はどのようになっているのかを伺います。健康福祉部長 今回の制度改革の柱は介護予防です。清瀬市の独自施策として、機能回復訓練事業、筋力アップ教室等を実施している。これらの見直しを図り、新予防給付事業等への組み入れを検討していきます。

清瀬橋架け替えに伴う周辺整備について

架け替え工事ほぼ終了し、市民の関心は跡地の利用に向

いています。これに関しては「整備懇談会」で議論があったと思いますが、誰でも水に親しめ、自然環境を活かした公園にしたいと思つた立場で市の考え方を伺います。市長 清瀬橋のエリアはヒョトープ公園、金山調整池、金山緑地公園、せせらぎ公園などと同様に、柳瀬川回廊としての大きな財産になると考えています。整備懇談会の意見を聞いて対応して参ります。

高齢者の交通事故対策について

先日の方方、高齢者の事故を2件目撃しました。幸い大きな怪我はなかったようですが、一歩間違えば大変なことになったと思います。高齢者の交通事故発生状況と、「反射材ベスト」の配布などの対策を伺います。総務部長 高齢者が反射材のついた服を夕暮れから夜にかけて着用することは、交通事故防止に有効です。反射材ベストを交通安全協会の協力と相談しながら高齢者に配布していきたいと思っています。



清瀬・生活者ネットワーク 原まさ子

つる性植物の緑のカーテンで学校の暑さ対策を

夏の学校の暑さ対策が求められる声もあるが、学校は環境性能が悪いので安易な導入は避けべきです。学校の壁面をつる性植物で緑化する取り組みを通じ環境学習や暑さ対策と

して取り組むことを求めます。学校教育部長 環境学習や暑さ対策として、モデル校を指定し、アサガオなどのつる性植物の選択を含めて相談しながら、学校の壁面に緑のカーテンを試験的に取り組んでいきたいと考えています。

学校等でのアスベスト使用実態の把握を求め

アスベストは悪性中皮腫や肺癌の原因物質として知られています。一昨年練馬区の小学校で吹きつけアスベストが確認され、34の学校を含む45の区施設で検出されました。過去に多用された経過があります。調査と対策を求めます。学校教育部長 今日まで、学校からアスベストが見えなかったという話は聞いたことがありません。今後、体育館の大規模改修と耐震化工事がありますのでアスベストの調査を実施し、その結果を踏まえて慎重に対応していきます。

健康センター健康増進室の昼休みの見直しを

健康志向の高まりから民間スポーツクラブの会員になる人が増え、健康増進室の利用も増えていくと聞きます。そんな中、市民から12時から1時までの昼休み時間の開館を求めたいという声があります。窓口同様実施すべきと考えます。健康福祉部長 利用単位は午前9時から正午、午後1時から5時、午後5時から9時までを1利用単位として利用していただいております。正午から午後1時までの利用については今後検討いたします。

